

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年8月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2972200089
法人名	有限会社 クローバー
事業所名	四っ葉のクローバー
所在地	宇陀市菟田野区古市場481 (電話) 0745 - 84 - 4335
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年7月31日

【情報提供票より】(平成19年7月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 3月 13日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18人 人
職員数	16 人 常勤 2人,うち兼務2人 常勤換算 15.2

(2) 建物概要

建物構造	木 造
	平屋 建て 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	38,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(550,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	250 円	昼食	450 円
	夕食	550 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(7月18日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 83.7 歳	最低	57 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人拓誠会 辻村病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営母体である医療法人が、長年地域医療に関ってきた中で、認知症高齢者の問題を強く認識され、平成17年3月に木造平屋建て(2ユニット:定員18名)で、病院の近くに建設されました。ここでは、保険・医療・福祉の連携による精神的安定と自立した生活の確保に努められています。共用空間や居室もそれぞれ工夫され、穏やかな暮らしが実感されます。職員も、入居者の意思と人格を尊重した対応を心がけ、信頼関係が構築されています。また、隣接地にデイサービスセンターが開所され、この利用による、ホーム外の方々との交流も積極的になされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	金銭の自己管理が可能な入居者への対応について検討がなされ、買物時にサイフにお金を入れ、自ら精算する方向に進められています。また、地域との関りを大切にされ、地域の行事等への参加やボランティアの受け入れ等その広がりが見られます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義や目的については、全職員が正しく認識され、それぞれの立場から事実の検証を常になされ、質の向上に努められています。また、外部評価での結果も取り入れ改善に努められています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の設置はなされていますが、事業活動や入居者の状況報告に留まっており、運営推進会議の役割や目的が十分機能している様には感じられません。これからの課題として検討されることが望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族からの苦情・相談の担当を決め、家族等の訪問時には担当者から積極的に話し掛け、課題があれば、職員会議で検討されサービスに生かす取り組みがなされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームが開所して2年半余が経過し、ホームに対する理解も進み、地域の行事への参加やボランティアの訪問等その広がりが見られます。地域密着型サービスは地域との関係性が重要視されていますので、一層の取り組みを期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営理念が作成され、職員は生活のパートナーとの認識のもと、安らぎと自分らしさや誇りのある暮らしの確保に向けた支援がなされています。		地域社会との関りをより重要視されて、グループホームも地域密着型サービスに位置づけられたことから、この視点を大切にしたい理念の見直し・検討が望まれます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関を入った所に理念が掲げられており、入居者・家族への周知とともに、職員一人ひとりが常に心がけ実践されているほか、仕事の申し送り時には理念を復唱し共有化への取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域主催の音楽会や行事には積極的に参加されると共に、小学生やボランティアの受け入れがなされ、地域との交流に努められています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義や目的について正しく認識され、評価結果の検証を行い、職員全員で改善への取り組む体制が確立されています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を設置され、定期的開催されています。その時に提起された問題点については、職員に周知しサービスの向上に生かす機会とされています。		入居者の暮らしの安定と充実を支援するために、運営推進会議の果たす機能は大きいものがありますので、提案される議案に工夫されることが望まれます。また、会議は2か月に1回を基本にされる事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに位置づけられたことから、毎月1回行政・包括支援センターとの支援会議に参画され、情報交換と課題の解決に連携されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の暮らしぶりについては、家族の訪問時に報告されているほか、定期的に本人の健康状態等と暮らしの様子を写真に撮り手紙と一緒に報告されています。また、状態の変化に応じ、随時の報告もされています。		日々の様子については、詳しく報告されていますが、金銭管理に係る支援の方策が検討されており、金銭の自己管理できる喜びと安心感は暮らしに大きな励みをもたらしますので、早急を実現されることを期待します。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等からの意見や苦情・相談を受ける担当者が決められており、担当者は、家族等の訪問時には積極的に話しかけ、課題がある場合には職員会議で検討される仕組みとされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎の職員の固定化はされていませんが、信頼関係の構築は入居者の生活の安定に繋がることを強く認識され、本人の状態や馴染みの関係の様子を勘案され弾力的に対応されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員に介護に関する知識・技術はもとより、医療に関する知識の習得など、法人内・外の研修に計画的に参加され資質の向上と育成に努められています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行政との繋がりを深める中で、そこからの協力を得て他業者の施設見学や意見交換の機会を確保され、サービスの質の向上にむけた取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>安定した生活を維持・継続する為には、本人の納得が極めて大切な要因であることに着眼され、本人や家族の都合に合わせた訪問機会の提供や体験入居に応じる等弾力的に対応されています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の生活暦を十分把握した上で、生活を共にしているとの認識の下、生きがいに繋がる役割と機会の確保に努め、生活を共有出来るように工夫されています。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントでの本人の希望・意向の確認を基に、暮らしの中からも希望等の把握に努め、サービスへと反映と情報の共有が図られています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全体ミーティングが毎月開催され、蓄積された情報を参考に意見交換され、また、カンファレンスには家族も同席され利用者本位の計画になるよう取り組まれています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>詳細な個別記録と共に気付きノートに本人の行動や状況の変化も記録されるほか、計画内容についても検証され、必要に応じて家族・医師を交えた話し合う場を設けるなど、現状に即した介護計画になるよう工夫されています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族や本人の意向に配慮され、通院や外泊時等において自主サービスとして支援されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居に際して、ホームの運営主体である医療法人が近くで開設している病院で受診することを家族等に説明され了解を得ておられるが、希望があれば従前のかかりつけ医での受診が受けられるよう弾力的に支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応については、入居時に説明され当事者間で合意がされており、職員もホームの方針を理解されています。また、急変時に対処するための医師の確保もされています。		終末期への明確な方針を持ち、職員にも浸透されていますが、家族や本人の思いに寄り添った支援をするために、対応指針を文書化されることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホームでの生活支援の基本を、入居者の意思の尊重と尊厳の確保との認識を常に自覚されると共に個人のプライバシーの保護についても学習され実践されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れは決められていますが、本人の意向(買い物・散歩等)やペースを第一とされ、自分らしさや誇りある生活が出来る様に支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	キッチンオープンになっており、調理の様子が伝わり食欲が誘発され、また、準備も職員と一緒に楽しい雰囲気を出しています。なお、献立についても利用者と相談されメニュー化されています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1週間の入浴時間や時間帯の設定はありますが、在宅中の生活習慣や本人の希望に合わせた弾力的な支援がされています。また、温度を本人の希望にあわせたり、入浴剤を使用する等入浴が楽しめるように工夫されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分らしさを保ち、穏やかで安心した生活を続けるためには、日々の暮らしの中に、個々の状態に合った役割や興味を持たせる事が大切との認識され、さまざまな取り組み(調理・買い物・洗濯・音楽・散歩等)がなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出での気分転換や刺激を受けることで、入居生活の安定に繋がることを認識され、花見や夏祭りへの参加等外出機会の確保が図られているほか、家族の協力を得てホームの外に出かける機会を設けられています。		ホーム内で、楽しみ事や生きがいに資する取り組みがなされていますが、生活の全てが完結するものでもないことから、外出による五感への刺激は大切な営みでありますので、日常的に外出出来る機会の確保を工夫されることが望まれます。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの前面道路が交通量が多いことから、利用者の安全面への配慮から入り口の門に施錠されています。		施錠は、利用者に心理的な不安を与え、また、訪問者や周辺住民にもたらす印象等のデメリットを考慮して、利用者の見守り等の徹底に工夫され、施錠のあり方を検討されることが望まれます。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地元消防署の指導の下に、火災時の避難訓練が実施されており、避難経路の確保と緊急時の通報・連絡体制が整備されています。		災害時における地元住民の協力を得るために、働きかけがなされていますので、早急実現されることを期待されます。なお、地震災害に備え、飲み水等最低必要物品の備蓄についても検討される事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
		栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	関連施設の管理栄養士に相談され、栄養バランスに配慮されると共に、食事や水分の摂取量を介護日誌に詳細に記録されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
		居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりと過ごせる共用空間が確保されており、オープンキッチンからの音や匂いは生活感に溢れ、安心して過ごせる環境となっています。なお、季節を感じられる様に、生け花等での工夫もなされています。		
		居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が長年使い慣れた調度品や装飾品を居室に持ち込まれ、安心して過ごせる生活空間となっています。また、希望者には、畳敷きとされることへの配慮もなされています。		